

課外活動（パワーアップタイム） 「手話ソングを歌おう」

横須賀市立諏訪小学校



単元（題材）目標

- 「手話」というコミュニケーション手段を知る。
- よく知っている歌を手話をしながら歌うことにより、手話を身近に感じ、自然に使えるようにする。

（1）実施時期

週1回（主に木曜日・10分間） 通年

（2）対象（学年等・人数）

特別支援級（あさひ級） 18名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校特別支援級担任 5名 特別支援介助員 1名

（4）実施内容

- 児童のよく知っている曲を選定し、歌詞の単語の手話表現を一つ一つ練習しながら曲を歌う。
- 1～2ヶ月かけて一曲歌えるようにする。

（5）成果

- 「世界中の子どもたちが」「小さな世界」「ドレミの歌」「手のひらを太陽に」「人間ていいな」の5曲を、手話を交えて歌えるようになった。
- 手話表現が、言葉の意味と大きく関わっていることを感じ取ることができたと思われる。
- 日常会話の中で「手話ではこうするんだよね。」などと話す児童もいて、手話を身近なものだと感じる児童もいた。
- この取組をきっかけとして、手話について図書室で調べたり、指文字を覚えたりする児童もいた。

（6）その他

保護者の参観の機会に全員で1曲発表する機会をもった。